

令和 5 (2023)年度 事業報告書

(令和 5 (2023)年 4 月 1 日から 令和 6 (2024)年 3 月 31 日まで)

令和 6 (2024) 年 6 月 6 日

公益財団法人 国際科学技術財団

< 概 況 >	2
< 事 業 活 動 >	4
1. 顕彰事業.....	4
(1) 2023 年日本国際賞(Japan Prize)授賞式および関連行事	4
(2) 2024 年日本国際賞受賞候補者の審査と決定	4
(3) 2025 年日本国際賞授賞対象分野の検討と発表	9
(4) 日本国際賞審査委員会委員の選任	12
(5) 2025 年日本国際賞受賞候補者の推薦依頼	13
2. 研究助成事業.....	14
3. 啓発活動.....	17
4. 広報活動.....	18
(1) Japan Prize 受賞者発表記者会見開催	18
(2) 海外広報活動	18
(3) その他広報活動	18
5. 会議開催状況.....	18
(1) 評議員会および理事会の開催	18
(2) 資産運用委員会の開催	19
< 会 計 報 告 >	22
令和 5 年度 貸借対照表	22
令和 5 年度 正味財産増減計算書	23
令和 5 年度 経常費用内訳.....	24
令和 5 年度 正味財産増減計算書内訳表.....	26
財務諸表に対する注記.....	28
附属明細書	31
令和 5 年度 財産目録.....	32

< 概 況 >

2023 年度は、5 月に新型コロナウイルス感染症の扱いが 5 類に変更され社会全般の平常化が進む中、主要事業の推進に加え、授賞式会場を新国立劇場に移す準備、グループを対象とする特別賞の募集と審査の開始、資産分散化の検討等、将来に向けた活動にも取り組みました。

（日本国際賞）

4 月に 2023 年日本国際賞（Japan Prize）授賞式を開催し、天皇皇后両陛下のご臨席と天皇陛下のおことばを賜りました。矢崎会長より「エレクトロニクス、情報、通信」分野で中沢正隆博士と萩本和男氏、「生命科学」分野でゲロ・ミーゼンベック博士とカール・ダイセロス博士へ日本国際賞を授賞しました。

関連行事として、総理大臣表敬訪問、オーストリア大使館表敬訪問、記念講演会、メディアインタビューを行いました。祝宴は昨年に続き自粛と致しましたが、受賞者と財団関係者による内輪の交流会を開催しました。

2024 年日本国際賞では、選考と授賞式準備を行いました。審査委員会より「資源、エネルギー、環境、社会基盤」分野でブライアン・ホスキンス博士とジョン・ウォーレス博士、「医学、薬学」分野でロナルド・エバンス博士が推挙され、11 月理事会にて推挙された方々を受賞者に決定しました。1 月にオンラインで受賞者発表記者会見を開催しました。

2025 年日本国際賞では、授賞対象分野検討、推薦募集を行い、審査を開始しました。分野検討委員会の検討の結果、「物質・材料、生産」と「生物生産、生態・環境」を授賞対象分野とする事が合意され、定義文が作成されました。11 月理事会にて授賞対象分野と定義文を承認し、2 月上旬にかけてこれらの定義文に基づいて候補者推薦を募集しました。

審査委員が任期（3 年）満了に伴い改選され、五神真委員長・間野博行副委員長の新体制が発足し、3 月の審査委員会において審査部会委員が承認され、2025 年日本国際賞は新体制による審査が始まっています

従来の個人を対象とする授賞はそのまま維持し、グループを対象とする日本国際賞特別賞を創設することが 2023 年 3 月の理事会において決議された事に伴い、グループの候補者推薦受付を開始し、両分野へ複数の推薦がありました。

ここ数年授賞式の規模を縮小しておりましたが、1,000 名規模の式典に復する準備を進めました。国立劇場が長期改修に入り、同等の格式の新国立劇場に会場を移す事を基本プランとし、財団役員の方々のご支援の下ご関係先と交渉を進め、新国立劇場財団様のご理解を頂き 2025 年

および 2026 年授賞式について各々 3 日の候補日をいただきました。文科省、文化庁、宮内庁始めご関係の皆様のご支援に感謝申し上げます

（研究助成）

平成記念研究助成は制度発足後 5 年目を迎えました。今年も若手研究者の育成を図り助成対象者と選考委員・財団幹部との交流会を開催しました。2024 年の助成対象者を平成記念研究助成選考委員会にて選考いただき、3 月理事会において決定しました。助成制度のさらなる改善について理事会で議論が行われています。選考基準の在り方、選考委員の任期制導入等の検討を進めてまいります。

（広報活動）

広報活動においては、4 月の 2023 年日本国際賞授賞式と 1 月の 2024 年日本国際賞受賞者発表の 2 つのイベントのメディア発信を中心に取組みました。

国内では 4 月の授賞式および 1 月の受賞者発表とも NHK をはじめとする主要メディアの取扱いが数多くありました。海外では 1 月の受賞者発表を 81 カ国へ 13 言語により配信したところ、前年 3 倍増の 3,400 件を超える過去最多の掲載がありました。

（財務活動）

財務活動においては、保有株式に見通しを上回る配当があり、収支が計画より良化しました。感染症流行初期に保有債券の早期償還によって生じた約 30 億円の現金を、前年度中に高配当が期待される高格付国内株式 5 銘柄に組み替えましたが、これら株式に堅調な配当がありました。

資産運用委員会の発足当初より、当財団の保有資産の分散化を進め中長期的なリスク低減を図るべきとのご意見をいただいております、理事会で協議を行って参りました。保有資産の組替え実施する方向で理事会の合意がなされましたので、2024 年度以降具体的に進めてまいります。

< 事業活動 >

1. 顕彰事業

(1) 2023 年日本国際賞(Japan Prize)授賞式および関連行事

令和 5 (2023) 年 4 月 13 日 (木) に帝国ホテル東京「孔雀の間」にて、天皇皇后両陛下ご臨席のもと三権の長、大臣等を招待して授賞式を挙行了しました。2023 年は「エレクトロニクス、情報、通信」分野では中沢正隆博士と萩本和男氏、「生命科学」分野ではゲロ・ミーゼンベック博士とカール・ダイセロス博士の各分野 2 名の合計 4 名が受賞となりました。

授賞式は、昨年と同様に感染症対策のため、立法・行政・司法各機関の幹部の他、財団役員・委員のみの招待とし、祝宴は実施しませんでした。また前日 12 日の受賞記念講演会は無観客で行いました。

(2) 2024 年日本国際賞受賞候補者の審査と決定

分野検討委員会にて作成された定義文に基づき、「資源、エネルギー、環境、社会基盤」分野と「医学、薬学」分野の候補者を、財団に登録された全世界 15,500 人以上の推薦人(著名な学者・研究者)にジャパンプライズ WEB 推薦システム(JPNS : Japan Prize Nomination System)を通じて推薦を求めました。両分野合わせて 328 件の推薦が寄せられました。

「審査委員会」および「審査部会」は、令和 5 (2023) 年 3 月から審査を重ね、「審査部会」から推薦された候補者の中から「審査委員会」の審査を経て最終候補者が理事会に推挙されました。

令和 5 (2023) 年 11 月 9 日開催の理事会において、2024 年日本国際賞受賞者 3 名を次の通り決定しました。

「資源、エネルギー、環境、社会基盤」分野

受 賞 者：ブライアン・ホスキンス 博士 (イギリス)

ジョン・ウォーレス博士 (米国)

授賞業績：「異常気象の理解と予測に資する科学的基盤の構築」

「医学、薬学」分野

受 賞 者：ロナルド・エバンス 博士 (米国)

授賞業績：「核内ホルモン受容体ファミリーの発見と医薬品開発への応用」

令和 6 (2024) 年 1 月 23 日に、東京の主会場と 3 博士をそれぞれオンラインで結び、受賞者発表記者会見を実施しました。

◆ 2024 年日本国際賞審査委員会委員および審査部会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
「審査委員会」		
委 員 長	浅島 誠	帝京大学先端総合研究機構 機構長・特任教授 独立行政法人日本学術振興会 学術顧問 東京大学名誉教授
副 委 員 長	松本 洋一郎	東京大学名誉教授
委 員	石田 寛人	公益財団法人国際科学技術財団 参与
〃	大久保 達也	東京大学 理事・副学長 東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部 教授
〃	片岡 一則	公益財団法人川崎市産業振興財団 副理事長 ナノ医療イノベーションセンター センター長 東京大学名誉教授
〃	永田 恭介	筑波大学 学長

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 総合研究大学院大学名誉教授
〃	松下 正幸	公益財団法人国際科学技術財団 理事
〃	安浦 寛人	公益財団法人福岡アジア都市研究所 理事長 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所 副所長 九州大学名誉教授
審査部会 「資源、エネルギー、環境、社会基盤」分野		
部 会 長	大久保 達也	東京大学 理事・副学長 東京大学大学院工学系研究科 教授
部会長代理	阿尻 雅文	東北大学材料科学高等研究所 教授 東北大学 研究教授
委 員	梶川 裕矢	東京大学未来ビジョン研究センター 教授
〃	桑野 玲子	東京大学生産技術研究所 教授
〃	三枝 信子	国立環境研究所地球システム領域 領域長

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	瀬戸山 亨	三菱ケミカル株式会社 エグゼクティブフェロー
〃	所 千晴	早稲田大学理工学術院 教授 東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	中村 尚	東京大学先端科学技術研究センター 教授
〃	林 潤一郎	九州大学先導物質化学研究所 教授
〃	藤岡 恵子	株式会社ファンクショナル・フルイッド 代表取締役
〃	松井 佳彦	早稲田大学研究院 客員教授 北海道大学名誉教授
〃	丸山 茂夫	東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	水口 能宏	日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創ユニット 執行役員 CTO

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	森 章	東京大学先端科学技術研究センター 教授
専 門 委 員	小野 峻佑	東京工業大学情報理工学院 准教授
〃	近藤 昭彦	神戸大学 副学長 神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 教授
審査部会 「医学、薬学」分野		
部 会 長	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部 教授
部会長代理	三浦 正幸	東京大学大学院薬学系研究科 教授
委 員	石井 健	東京大学医科学研究所 教授
〃	浦野 泰照	東京大学大学院薬学系研究科 教授
〃	小川 誠司	京都大学大学院医学研究科 教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	門脇 孝	国家公務員共済組合連合会虎の門病院 院長
〃	北川 雄光	慶應義塾 常任理事 慶應義塾大学医学部 教授
〃	熊ノ郷 淳	大阪大学大学院医学系研究科 研究科長・医学部長・教授
〃	桑 昭苑	東京工業大学生命理工学院 教授
〃	下郡 智美	国立研究開発法人 理化学研究所脳神経科学研究センター チームリーダー
〃	富田 泰輔	東京大学大学院薬学系研究科 教授
〃	吉村 昭彦	慶應義塾大学医学部 教授

(令和 6 年 1 月 受賞者発表時現在)

(3) 2025 年日本国際賞授賞対象分野の検討と発表

分野検討委員会にて検討された、2025 年日本国際賞の二つの授賞対象分野とそれらの定義文、および 2025 年から 2027 年までの向こう 3 年間の授賞対象領域・分野を、令和 5 (2023) 年 11 月 9 日開催の理事会にて決定し、同日発表しました。

◆ 2025 年日本国際賞授賞対象分野

「物質・材料、生産資」分野および「生物生産、生態・環境」分野

◆ 日本国際賞授賞対象分野（2025 年-2027 年）

「物理、化学、情報、工学」「Physics, Chemistry, Informatics, and Engineering」

授賞対象分野	授賞年
物質・材料、生産 Materials and Production	2025 年
エレクトロニクス、情報、通信 Electronics, Information, and Communication	2026 年
資源、エネルギー、環境、社会基盤 Resources, Energy, Environment, and Social Infrastructure	2027 年

「生命、農学、医学、薬学」「Life Sciences, Agriculture, Medicine, and Pharmacology」

授賞対象分野	授賞対象年
生物生産、生態・環境 Biological Production, Ecology/ Environment	2025 年
生命科学 Life Sciences	2026 年
医学、薬学 Medical Science and Pharmaceutical Science	2027 年

◆ 2025 年日本国際賞分野検討委員会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員 長	宮園 浩平	国立研究開発法人理化学研究所 理事 東京大学大学院医学系研究科応用病理学 卓越教授
副委員長	橋本 和仁	国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	新井 洋由	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事 東京大学名誉教授
〃	五十嵐 仁一	ENEOS 総研株式会社 顧問 元 JXTG エネルギー 取締役常務執行役員
〃	上田 修功	国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 リサーチプロフェッサー（客員フェロー）
〃	沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	倉永 英里奈	東北大学大学院生命科学研究科 教授 京都大学大学院薬学研究科 教授
〃	黒田 忠広	東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	堤 伸浩	東京大学 副学長 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
〃	仲野 徹	大阪大学名誉教授
〃	波多野 睦子	東京工業大学工学院電気電子系 教授・学長特別補佐

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委 員	宝野 和博	国立研究開発法人物質・材料研究機構 理事長
〃	元村 有希子	毎日新聞 論説委員
〃	吉田 稔	国立研究開発法人理化学研究所 理事 東京大学特別教授室 特別教授

(令和 5 年 11 月 授賞対象分野発表時現在)

(4) 日本国際賞審査委員会委員の選任

2024 年日本国際賞授賞式後の令和 6（2024）年 4 月末日をもって審査委員会委員の任期が満了を迎えることから、令和 5（2023）年 11 月 9 日に開催した第 61 回理事会において、2025 年以降の受賞者の審査を行う委員を選任しました。専門的な審査を行う審査部会委員は、令和 6 年 3 月の第 1 回審査委員会において選任され、氏名等は令和 7（2025）年 1 月に公表されます。

◆ 2025 年日本国際賞審査委員会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
審 査 委 員 長	五神 真	国立研究開発法人理化学研究所 理事長 元東京大学総長
審 査 副 委 員 長	間野 博行	国立研究開発法人国立がん研究センター 研究所長
審 査 委 員	大久保 達也	東京大学 理事・副学長 東京大学大学院工学系研究科 教授

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
審 査 委 員	岡野 栄之	慶應義塾大学医学研究科 教授
〃	川上 則雄	京都大学名誉教授
〃	永田 恭介	筑波大学 学長
〃	長谷川 真理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長
〃	松下 正幸	公益財団法人国際科学技術財団 理事
〃	森口 泰孝	公益財団法人国際科学技術財団 理事 公益社団法人 日本工学教育協会 会長 元文部科学事務次官
〃	安浦 寛人	公益財団法人福岡アジア都市研究所 理事長 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所 副所長 九州大学名誉教授

(令和5年11月 理事会承認時現在)

(5) 2025 年日本国際賞受賞候補者の推薦依頼

2025 年日本国際賞受賞候補者を、財団に登録された全世界 15,500人以上の推薦人(著名な学者・研究者)に、個人を対象とする推薦と、令和5(2023)年3月の第58回理事会で承認されたグループ授賞の推薦を、ジャパンプライズ WEB 推薦システム(JPNS)を通じて求めました。令和6年1月末の締め切りまでに個人を対象とする推薦221件、グループを対象とする推薦6件が寄せられました。

2. 研究助成事業

2024 年研究助成対象者を 4 月に発表し助成金を贈呈しました。

令和 5（2023）年 7 月 24 日（月）に都内ホテルにおいて、助成対象者と選考委員および財団役員の交流会を開催しました。当日は各助成対象者から研究状況について率直な発表があり、活発に意見が交わされました。発表終了後、懇談会を行いました。

「2024 年日本国際賞平成記念研究助成選考委員会」を設置し、応募 54 件について書類選考・ビデオ選考・最終面接の三段階で選考を行い、下記 4 組 13 名の研究助成対象者を決定しました。

（2024 年研究助成対象者は令和 6（2024）年 4 月 10 日に発表しました。）

◆ 2024 年日本国際賞平成記念研究助成対象者

研究テーマ	氏 名(敬称略)・所 属		助成額
崇高により人と人が自発的に つながる社会をつくりだす — 内発的な変化を促すことが できる美学的体験に着目して —	研究 代表 者	石津 智大 関西大学文学部心理学専修 教授	10 百万円
	共同 研究 者	町澤 まろ 株式会社 Xiberlinc デジタル脳科学ラボ Director	
	共同 研究 者	大黒 達也 東京大学大学院情報理工学系研究科 次世代知能科学研究センター 准教授	
	共同 研究 者	Pelowski, Matthew University of Vienna, Department of Cognition, Emotion, and Methods in Psychology Assistant Professor	

研究テーマ	氏 名(敬称略)・所 属		助成額
野生動物保全と持続可能な経済活動の両立：ネパールの村民サイエンティストと共に創るモデル社会	研究代表者	木下 こづえ 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授	10 百万円
	共同研究者	早川 卓志 北海道大学大学院地球環境科学研究院 助教	
	共同研究者	菊地 デイル 万次郎 東京農業大学農学部生物資源開発学科 助教	
	共同研究者	Khanal Gopal Government of Nepal, Ministry of Forests and Environment, Department of National Parks and Wildlife Conservation Conservation Officer	
災害医療トリアージに対する専門家と市民の距離感についての人文社会学的解明	研究代表者	島田 裕平 東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻 博士課程	10 百万円
	共同研究者	坂井 愛理 追手門学院大学社会学部社会学科 講師	
	共同研究者	石橋 真帆 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 特任助教	
	共同研究者	三羽 恵梨子 東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野 特任研究員	

研究テーマ	氏 名(敬称略)・所 属		助成額
「ロマ（ジプシー）の母語辞典」制作基盤研究	研究 代表 者	角 悠介 神戸市外国語大学外国学研究所 客員研究員	4.4 百万円

(所属、役職は令和 6 年 3 月理事会承認時現在)

◆ 2024 年日本国際賞平成記念研究助成選考委員会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
選考委員長	松本 洋一郎	東京大学名誉教授
選 考 委 員	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科 教授
〃	沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科 教授
〃	梶川 裕矢	東京大学未来ビジョン研究センター 教授
〃	神崎 亮平	東京大学名誉教授 東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー
〃	白波瀬 佐和子	国際連合大学 上級副学長
〃	長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 総合研究大学院大学名誉教授
〃	松田 譲	公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団 名誉理事

(令和 6 年 3 月理事会承認時現在)

3. 啓発活動

やさしい科学技術セミナー

広く一般の方を対象として科学技術に関する知識の啓発を目的として実施している「やさしい科学技術セミナー」を、オンラインを中心に5回開催（第341～345回）しました。

◆ やさしい科学技術セミナー開催状況

開催回	開催日（収録日）・場所・テーマ・講師	
第341回	収録日	2023年6月27日（火）
	テーマ	環境に調和して自己発展する電子物質システムの創出～情報生命物理学による電子・分子コンピューティングと人工生命～
	講師	瀧ノ上 正浩 先生 東京工業大学情報理工学院情報工学系 教授
第342回	収録日	2023年11月13日（月）
	テーマ	呼吸器感染症の疾患感受性遺伝子の解明～ネクストパンデミックの際にはより社会に貢献できる研究を目指して～
	講師	南宮 湖 先生 慶應義塾大学医学部感染症学教室 専任講師
第343回	収録日	2023年11月15日（水）
	テーマ	臓器を作る幹細胞と常在菌との協奏
	講師	滝澤 仁 先生 熊本大学国際先端医学研究機構 特別招聘教授
第344回	開催日	2024年2月20日（火）
	テーマ	水で分解し資源再生するビニルポリマーによる「究極のプラスチック循環システム」の開発
	講師	高坂 泰弘 先生 信州大学先鋭材料研究所／繊維学部 准教授
第345回	収録日	2024年2月23日（金）
	テーマ	自然とともに生きる、これからの地域社会づくり
	講師	田中 俊徳 先生 九州大学アジア・オセアニア研究教育機構研究推進部門 准教授

4. 広報活動

(1) Japan Prize 受賞者発表記者会見開催

令和 6（2024）年 1 月 23 日に東京を本会場とし、オンラインで実施しました。受賞者と参加メディアを web 会議サービスによって接続し、同時通訳を交えながら、受賞者のご挨拶と記者からの質問に対する回答を参加メディアに伝え、同時に記者発表の模様をリアルタイムでライブ配信しました。記者発表に続き受賞者へのグループインタビューを実施しました。

オンラインの特徴を活かし、地方メディアにも広く案内をしたことで首都圏以外からも多くの参加が認められました。

プレスリリースや関連資料の質と量の充実を図って参りました。今回もテレビ局・5 大紙・通信社だけでなく、大学や研究機関にも大きく取り上げていただくことができました。

(2) 海外広報活動

オンラインニュース配信会社のサービスを引続き活用し、配信対象国を拡大しています。今回は、81 カ国に 13 言語でプレスリリースを配信して各国の主要メディアをカバーすることで、従来よりも多くの記事掲載につながりました。配信会社からフィードバックされる掲載メディアの名称とその地域のデータの分析は、効果的に認知を高める方策の検討に活かせるものと思われます。

(3) その他広報活動

令和 5（2023）年 4 月に広報資料「Japan Prize 日本国際賞 2023」を、令和 6（2024）年 1 月に「Japan Prize News No.69」を発行しました。

Japan Prize ウェブサイトは、随時アップデートしています。

5. 会議開催状況

(1) 評議員会および理事会の開催

次の評議員会と理事会を開催しました。

◆ 評議員会開催状況

開催回	開催日および場所、審議の結果
第 27 回 評議員会	令和 5（2023）年 6 月 8 日(木) 帝国ホテル東京「光の間」
	1. 令和 4 年度事業報告案および財務諸表等案の詳細説明 2. 理事選任の詳細説明

開催回	開催日および場所、審議の結果
第 28 回 評議員会	令和 5（2023）年 6 月 23 日(金) 書面決議(評議員全員の同意書による)
	1. 令和 4 年度事業報告案および令和 4 年度財務諸表等案承認の件 承認 2. 理事選任の件 承認

◆ 理事会開催状況

開催回	開催日および場所、議案および議決の結果
第 59 回 理事会	令和 5（2023）年 6 月 8 日(木) 帝国ホテル東京「光の間」
	1. 評議員会へ上程する令和 4 年度事業報告案および財務諸表等案の承認の件 承認
	2. 事業報告等に係る提出書類についての承認の件 承認
	3. 保有する株式に係る議決権の行使承認の件 承認
	4. 評議員会へ上程する理事候補者案承認の件 承認
	5. 議員会の日時および場所並びに目的である事項承認の件 承認
	6. 理事会の日時および場所並びに目的である事項承認の件 承認
	7. 2024 年日本国際賞平成記念研究助成選考委員承認の件 承認
第 60 回 理事会	令和 5（2023）年 6 月 23 日(金) 書面決議(理事および監事全員の同意書による)
	1. 専務理事選定の件 承認
第 61 回 理事会	令和 5（2023）年 11 月 9 日(木) 帝国ホテル東京「孔雀の間(東)」
	1. 2024 年日本国際賞受賞候補者承認の件 承認
	2. 2025 年日本国際賞授賞対象分野他承認の件 承認
	3. 次期(2025 年～2027 年)日本国際賞審査委員会委員承認の件 承認
	4. 2025 年日本国際賞審査部会 部会長および部会長代理承認の件 承認
第 62 回 理事会	令和 6（2024）年 3 月 7 日(木) アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 令和 6（2024）年度事業計画および収支予算等承認の件 承認
	2. 2024 年日本国際賞平成記念研究助成対象者承認の件 承認

(2) 資産運用委員会の開催

「資産運用委員会」を次のとおり開催しました。

開催回	開催日および場所、審議の内容
第 6 回	令和 5（2023）年 4 月 27 日（木） 帝国ホテル東京「桂の間」
	1. 仕組債の問題点についての説明
	2. 2022 年度決算概要説明
	3. 選定 5 銘柄に関わる状況報告
	4. 中期運用スタンス事務局案説明
	5. 中長期運用方針について意見交換

開催回	開催日および場所、審議の内容
第 7 回	令和 5（2023）年 7 月 6 日（木） 帝国ホテル東京「桂の間」
	1. 令和 5 年 6 月 2 日 有識者会議最終報告 公益法人制度改革検討 2. 基本財産に関わる状況報告 3. ポートフォリオ改善についての経過報告 4. ポートフォリオ改善および中長期運用方針について意見交換
第 8 回	令和 5（2023）年 10 月 12 日（木） 帝国ホテル東京「柏の間」
	1. 第 61 回理事会提出委員会意見書『令和 5 年度上期資産運用状況』検討 2. 第 61 回理事会提出委員会意見書 『公益法人改革と中長期的運用方針について』検討
第 9 回	令和 6（2024）年 2 月 6 日（火） アーク森ビルイーストウイング 35 階 国際科学技術財団「会議室」
	1. 令和 6 年度資産運用計画（案）について検討 2. 諸課題検討 ・ 資産管理運用規程改訂についての検討 ・ 組替先選定/組替手続き（時期、売却方法）検討

◆ 資産運用委員会委員

	氏 名(敬称略)	勤 務 先 ・ 職 名
委員長	鈴木 繁治	元 会計検査院 事務総長 元 ルクセンブルク大公国駐劬特命全権大使
委 員	野手 弘一	元 株式会社三井住友銀行 市場営業推進部長、監査部 上席考査役 元 三井住友銀行企業年金基金 常務理事/運用執行理事
〃	水野 譲	元 松下電器産業株式会社 財務部長、上席理事財務・I R 担当 現 松下不動産株式会社 副社長

(2023 年度末現在)

< 附属明細書の作成について >

上記の事業報告に関して、一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている附属明細書によりその内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

令和 6（2024）年 6 月 6 日

公益財団法人 国際科学技術財団

＜ 会 計 報 告 ＞
令和5（2023）年度 貸借対照表

（令和6（2024）年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
-----	-----	-----	-----	-----

【Ⅰ】資産の部

現金預金	203,063,081	180,557,049	+22,506,032	
未収金	6,702,381	6,993,277	-290,896	
前払金	11,914,198	18,841,517	-6,927,319	
流動資産合計	221,679,660	206,391,843	+15,287,817	
普通預金	595,652	595,652	+0	
投資有価証券	19,966,433,300	16,234,230,620	+3,732,202,680	
基本財産合計	19,967,028,952	16,234,826,272	+3,732,202,680	
賞金基金普通預金	5,632,646	5,632,646	+0	
賞金基金有価証券	2,099,157,800	1,781,506,350	+317,651,450	
退職給付引当資産	40,288,200	59,769,790	-19,481,590	
平成記念研究助成預金	40,000,000	60,000,000	-20,000,000	
賞金変額制対応預金	300,000,000	200,000,000	+100,000,000	
特定資産合計	2,485,078,646	2,106,908,786	+378,169,860	
建物付属設備	2,676,632	2,023,224	+653,408	
什器備品	5,212,762	129,612	+5,083,150	
ソフトウェア	0	35,100	-35,100	
電話加入権	459,300	459,300	+0	
敷金	15,494,770	17,500,130	-2,005,360	
保証金	10,000	10,000	+0	
その他固定資産計	23,853,464	20,157,366	+3,696,098	
固定資産合計	22,475,961,062	18,361,892,424	+4,114,068,638	
資産合計	22,697,640,722	18,568,284,267	+4,129,356,455	

【Ⅱ】負債の部

未払金	2,496,490	4,979,631	-2,483,141	
預り金	1,473,131	879,542	+593,589	
賞与引当金	5,191,000	4,271,000	+920,000	
流動負債合計	9,160,621	10,130,173	-969,552	
退職給付引当金	40,288,200	59,769,790	-19,481,590	
固定負債合計	40,288,200	59,769,790	-19,481,590	
負債合計	49,448,821	69,899,963	-20,451,142	

【Ⅲ】正味財産の部

寄附金	19,271,050,964	15,644,767,214	+3,626,283,750	
指定正味財産合計	19,271,050,964	15,644,767,214	+3,626,283,750	
〔うち基本財産への充当額〕	19,271,050,964	15,644,767,214	+3,626,283,750	
一般正味財産合計	3,377,140,937	2,853,617,090	+523,523,847	
〔うち基本財産への充当額〕	695,977,988	590,059,058	+105,918,930	
〔うち特定資産への充当額〕	2,444,790,446	2,047,138,996	+397,651,450	
正味財産合計	22,648,191,901	18,498,384,304	+4,149,807,597	
負債及び正味財産合計	22,697,640,722	18,568,284,267	+4,129,356,455	

令和5（2023）年度 正味財産増減計算書

（令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
-----	-----	-----	-----	-----

【Ⅰ】一般正味財産増減の部

（１）経常増減の部

基本財産受取利息	28,548,047	29,893,853	-1,345,806	
基本財産受取配当金	501,333,600	350,372,700	+150,960,900	
基本財産運用益	529,881,647	380,266,553	+149,615,094	
特定資産受取利息	88,954,235	57,138,406	+31,815,829	
特定資産運用益	88,954,235	57,138,406	+31,815,829	
受取寄附金	8,750,000	8,750,000	+0	
受取利息	2,312	2,260	+52	
その他収益	59,570	27,720	+31,850	
雑収益	61,882	29,980	+31,902	
経常収益計	627,647,764	446,184,939	+181,462,825	
事業費	501,295,474	935,006,925	-433,711,451	
管理費	24,743,842	24,241,025	+502,817	
経常費用計	526,039,316	959,247,950	-433,208,634	
評価損益等調整前当期経常増減額	101,608,448	-513,063,011	+614,671,459	
基本財産評価損益	105,918,930	-44,184,854	+150,103,784	
特定資産評価損益	317,651,450	-93,614,004	+411,265,454	
評価損益等計	423,570,380	-137,798,858	+561,369,238	
当期経常増減額	525,178,828	-650,861,869	+1,176,040,697	

（２）経常外増減の部

固定資産売却益	879	0	+879	
経常外収益計	879	0	+879	
固定資産除却損	1,655,860	0	+1,655,860	
経常外費用計	1,655,860	0	+1,655,860	
当期経常外増減額	-1,654,981	0	-1,654,981	
当期一般正味財産増減額	523,523,847	-650,861,869	+1,174,385,716	
一般正味財産期首残高	2,853,617,090	3,504,478,959	-650,861,869	
一般正味財産期末残高	3,377,140,937	2,853,617,090	+523,523,847	

【Ⅱ】指定正味財産増減の部

基本財産評価損益	3,626,283,750	274,722,589	+3,351,561,161	
当期指定正味財産増減額	3,626,283,750	274,722,589	+3,351,561,161	
指定正味財産期首残高	15,644,767,214	15,370,044,625	+274,722,589	
指定正味財産期末残高	19,271,050,964	15,644,767,214	+3,626,283,750	

【Ⅲ】正味財産期末残高	22,648,191,901	18,498,384,304	+4,149,807,597	
-------------	----------------	----------------	----------------	--

令和5（2023）年度 経常費用内訳（1/2）

（令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
-----	-----	-----	-----	-----

■ 事業費

日本国際賞賞金	200,000,000	600,000,000	-400,000,000	
顕彰品費	15,334,536	23,354,775	-8,020,239	
奨励金	47,900,000	47,000,000	+900,000	
式典費	28,564,518	33,609,461	-5,044,943	
祝宴費	0	1,620,000	-1,620,000	
大道具保管料	336,600	336,600	+0	
給料手当及び賞与	45,294,537	42,991,787	+2,302,750	
福利厚生費	7,343,810	6,923,382	+420,428	
退職給付費用	2,003,800	4,979,400	-2,975,600	
諸謝金	7,454,700	7,725,780	-271,080	
旅費交通費	6,581,833	10,281,482	-3,699,649	
受賞者招聘旅費	13,005,816	28,863,115	-15,857,299	
滞在費	5,983,741	12,721,198	-6,737,457	
什器備品費	2,409,390	0	+2,409,390	
広報費	31,696,501	31,661,961	+34,540	
消耗品費	797,816	494,440	+303,376	
印刷製本費	5,214	185,861	-180,647	
通信運搬費	955,877	1,915,865	-959,988	
光熱水料費	149,380	154,610	-5,230	
借料及び損料	51,532,257	50,425,286	+1,106,971	
会議費	5,903,154	3,340,013	+2,563,141	
通訳料	2,666,489	4,534,252	-1,867,763	
雑役務費	8,386,587	6,306,890	+2,079,697	
調査委託費	14,545,032	13,822,940	+722,092	
雑費	1,650,490	1,210,891	+439,599	
建物付属設備減価償却費	316,177	368,105	-51,928	
什器備品減価償却費	449,490	145,556	+303,934	
ソフトウェア減価償却費	27,729	33,275	-5,546	
事業費合計	501,295,474	935,006,925	-433,711,451	

令和5（2023）年度 経常費用内訳（2/2）

（令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
■ 管理費				
給与手当及び賞与	7,373,529	6,998,663	+374,866	
福利厚生費	1,195,503	1,127,062	+68,441	
退職給付費用	326,200	810,600	-484,400	
諸謝金	3,374,680	3,306,910	+67,770	
旅費交通費	653,635	619,569	+34,066	
什器備品費	640,470	0	+640,470	
消耗品費	206,794	128,850	+77,944	
印刷製本費	1,386	1,848	-462	
通信運搬費	247,074	232,149	+14,925	
光熱水料費	39,708	41,098	-1,390	
借料及び損料	7,851,505	8,889,153	-1,037,648	
会議費	114,296	137,688	-23,392	
雑役務費	722,945	692,567	+30,378	
調査委託費	1,031,572	1,031,572	+0	
雑費	753,643	77,909	+675,734	
建物付属設備減価償却費	84,047	97,850	-13,803	
什器備品減価償却費	119,484	38,692	+80,792	
ソフトウェア減価償却費	7,371	8,845	-1,474	
管理費合計	24,743,842	24,241,025	+502,817	
経常費用合計	526,039,316	959,247,950	-433,208,634	

令和5（2023）年度 正味財産増減計算書内訳表（1/2）

（令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1 顕彰事業	公2 助成事業	公3 啓発事業	公益事業共通	小計		

【Ⅰ】一般正味財産増減の部

（１）経常増減の部

基本財産受取利息				23,980,360	23,980,360	4,567,687	28,548,047
基本財産受取配当金				421,120,224	421,120,224	80,213,376	501,333,600
基本財産運用益	0	0	0	445,100,584	445,100,584	84,781,063	529,881,647
特定資産受取利息	88,953,809	426			88,954,235		88,954,235
特定資産運用益	88,953,809	426	0	0	88,954,235	0	88,954,235
受取寄附金	0	0	0	8,750,000	8,750,000	0	8,750,000
受取利息				2,312	2,312		2,312
その他収益				59,570	59,570		59,570
雑収益	0	0	0	61,882	61,882	0	61,882
経常収益計	88,953,809	426	0	453,912,466	542,866,701	84,781,063	627,647,764
日本国際賞賞金	200,000,000				200,000,000		200,000,000
顕彰品費	15,334,536				15,334,536		15,334,536
奨励金		47,900,000			47,900,000		47,900,000
式典費	28,564,518				28,564,518		28,564,518
大道具保管料	336,600				336,600		336,600
給料手当及び賞与	37,921,009	3,686,764	3,686,764		45,294,537		45,294,537
福利厚生費	6,148,308	597,751	597,751		7,343,810		7,343,810
退職給付費用	1,677,600	163,100	163,100		2,003,800		2,003,800
諸謝金	7,070,670	384,030			7,454,700		7,454,700
旅費交通費	5,603,236	977,202	1,395		6,581,833		6,581,833
受賞者招聘旅費	13,005,816				13,005,816		13,005,816
滞在費	5,983,741				5,983,741		5,983,741
什器備品費	1,982,411	182,991	243,988		2,409,390		2,409,390
広報費	31,696,501				31,696,501		31,696,501
消耗品費	648,181	70,856	78,779		797,816		797,816
印刷製本費	4,290	396	528		5,214		5,214
通信運搬費	781,262	89,687	84,928		955,877		955,877
光熱水料費	122,908	11,345	15,127		149,380		149,380
借料及び損料	44,404,989	5,317,149	1,810,119		51,532,257		51,532,257
会議費	5,005,584	891,034	6,536		5,903,154		5,903,154
通訳料	2,666,489				2,666,489		2,666,489
雑役務費	7,697,721	182,184	506,682		8,386,587		8,386,587
調査委託費	13,616,628	928,404			14,545,032		14,545,032
雑費	1,380,729	115,612	154,149		1,650,490		1,650,490
建物付属設備減価償却費	260,147	24,013	32,017		316,177		316,177
什器備品減価償却費	369,835	34,138	45,517		449,490		449,490
ソフトウェア減価償却費	22,815	2,106	2,808		27,729		27,729
事業費	432,306,524	61,558,762	7,430,188	0	501,295,474	0	501,295,474

令和5（2023）年度 正味財産増減計算書内訳表（2/2）

（令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	公1 顕彰事業	公2 助成事業	公3 啓発事業	公益事業共通	小計		

【Ⅰ】一般正味財産増減の部（続き）

（１）経常増減の部

給料手当及び賞与					0	7,373,529	7,373,529
福利厚生費					0	1,195,503	1,195,503
退職給付費用					0	326,200	326,200
諸謝金					0	3,374,680	3,374,680
旅費交通費					0	653,635	653,635
什器備品費					0	640,470	640,470
消耗品費					0	206,794	206,794
印刷製本費					0	1,386	1,386
通信運搬費					0	247,074	247,074
光熱水料費					0	39,708	39,708
借料及び損料					0	7,851,505	7,851,505
会議費					0	114,296	114,296
雑役務費					0	722,945	722,945
調査委託費					0	1,031,572	1,031,572
雑費					0	753,643	753,643
建物付属設備減価償却費					0	84,047	84,047
什器備品減価償却費					0	119,484	119,484
ソフトウェア減価償却費					0	7,371	7,371
管理費	0	0	0	0	0	24,743,842	24,743,842
経常費用計	432,306,524	61,558,762	7,430,188	0	501,295,474	24,743,842	526,039,316
評価損益等調整前当期経常増減額	-343,352,715	-61,558,336	-7,430,188	453,912,466	41,571,227	60,037,221	101,608,448
基本財産評価損益				105,918,930	105,918,930		105,918,930
特定資産評価損益				317,651,450	317,651,450		317,651,450
評価損益等計	0	0	0	423,570,380	423,570,380	0	423,570,380
当期経常増減額	-343,352,715	-61,558,336	-7,430,188	877,482,846	465,141,607	60,037,221	525,178,828

（２）経常外増減の部

固定資産売却益				879	879		879
経常外収益計	0	0	0	879	879	0	879
固定資産除却損				1,655,860	1,655,860		1,655,860
経常外費用計	0	0	0	1,655,860	1,655,860	0	1,655,860
当期経常外増減額	0	0	0	-1,654,981	-1,654,981	0	-1,654,981
当期一般正味財産増減額	-343,352,715	-61,558,336	-7,430,188	875,827,865	463,486,626	60,037,221	523,523,847
一般正味財産期首残高	-3,069,713,708	-440,353,386	-124,002,818	6,083,430,649	2,449,360,737	404,256,353	2,853,617,090
一般正味財産期末残高	-3,413,066,423	-501,911,722	-131,433,006	6,959,258,514	2,912,847,363	464,293,574	3,377,140,937

【Ⅱ】指定正味財産増減の部

基本財産評価損益				3,626,283,750	3,626,283,750		3,626,283,750
当期指定正味財産増減額	0	0	0	3,626,283,750	3,626,283,750	0	3,626,283,750
指定正味財産期首残高				15,644,767,214	15,644,767,214		15,644,767,214
指定正味財産期末残高	0	0	0	19,271,050,964	19,271,050,964	0	19,271,050,964

Ⅲ．正味財産期末残高	-3,413,066,423	-501,911,722	-131,433,006	26,230,309,478	22,183,898,327	464,293,574	22,648,191,901
------------	----------------	--------------	--------------	----------------	----------------	-------------	----------------

【備考】基本財産及び特定資産運用益の配分、及び共通費用の配賦基準

基本財産運用益	—	—	—	84%	84%	16%	100%
賞金基金運用益	100%	—	—	—	100%	—	100%
人件費関係費用	72%	7%	7%	—	86%	14%	100%
その他共通費用	65%	6%	8%	—	79%	21%	100%

財務諸表に対する注記（1/3）

（令和5（2023）年度決算及び決算報告書に関する注記）

1. 重要な会計方針

（1）有価証券の評価基準及び評価方法

i. 満期保有の債券以外の有価証券

- ・ 期末の市場価額に基づく時価法により評価しています。
- ・ 市場価額のないものについては、合理的に算定された価額に基づく時価法により評価しています。

（2）固定資産の減価償却の方法

- ・ 平成23年度以前取得の有形固定資産 定率法
- ・ 平成24年度以後取得の有形固定資産 定額法
- ・ 無形固定資産 定額法

（3）引当金の計上基準

i. 退職給付引当金

- ・ 職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を引当金計上しています。

ii. 賞与引当金

- ・ 期末時点における職員の給与実績と当年度の賞与支給実績率に基づき、翌年度の賞与支給見込額を算出し、そのうち当期に帰属する額を引当金計上しています。

（4）消費税等の会計処理

- ・ 消費税等は、税込方式により会計処理を行っています。

財務諸表に対する注記（2/3）

（令和5（2023）年度決算及び決算報告書に関する注記）

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	普通預金	595,652	0	0	595,652
	債券	890,317,470	54,749,230	800,000	944,266,700
	株式	15,343,913,150	3,703,485,450	25,232,000	19,022,166,600
	有価証券計	16,234,230,620	3,758,234,680	26,032,000	19,966,433,300
	基本財産小計	16,234,826,272	3,758,234,680	26,032,000	19,967,028,952
特定資産	普通預金	5,632,646	0	0	5,632,646
	債券	1,308,480,000	98,422,500	0	1,406,902,500
	株式	473,026,350	219,228,950	0	692,255,300
	賞金基金計	1,787,138,996	317,651,450	0	2,104,790,446
	退職引当資産	59,769,790	1,730,000	21,211,590	40,288,200
	普通預金	60,000,000	0	20,000,000	40,000,000
	平成記念研究助成資産計	60,000,000	0	20,000,000	40,000,000
	普通預金	200,000,000	200,000,000	100,000,000	300,000,000
	賞金変額制対応資産計	200,000,000	200,000,000	100,000,000	300,000,000
	特定資産小計	2,106,908,786	519,381,450	141,211,590	2,485,078,646
基本財産・特定資産合計		18,341,735,058	4,277,616,130	167,243,590	22,452,107,598

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

・基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目		当期末残高	指定正味財産 からの充当額	一般正味財産 からの充当額	負債に対応する額
基本財産	普通預金	595,652	546,164	49,488	0
	債券	944,266,700	428,300,000	515,966,700	0
	株式	19,022,166,600	18,842,204,800	179,961,800	0
	有価証券計	19,966,433,300	19,270,504,800	695,928,500	0
	基本財産小計	19,967,028,952	19,271,050,964	695,977,988	0
特定資産	普通預金	5,632,646	0	5,632,646	0
	債券	1,406,902,500	0	1,406,902,500	0
	株式	692,255,300	0	692,255,300	0
	賞金基金計	2,104,790,446	0	2,104,790,446	0
	退職引当資産	40,288,200	0	0	40,288,200
	普通預金	40,000,000	0	40,000,000	0
	平成記念研究助成資金	40,000,000	0	40,000,000	0
	普通預金	300,000,000	0	300,000,000	0
	賞金変動制対応資金	300,000,000	0	300,000,000	0
	特定資産小計	2,485,078,646	0	2,444,790,446	40,288,200
基本財産・特定資産合計		22,452,107,598	19,271,050,964	3,140,768,434	40,288,200

財務諸表に対する注記（3/3）

（令和5（2023）年度決算及び決算報告書に関する注記）

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

- ・固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	3,369,163	692,531	2,676,632
什器備品	7,401,511	2,188,749	5,212,762
固定資産合計	10,770,674	2,881,280	7,889,394

5. 引当金の明細

- ・引当金の明細は、次のとおりです。

（単位：円）

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	59,769,790	1,730,000	21,211,590	0	40,288,200
賞与引当金	4,271,000	5,191,000	4,271,000	0	5,191,000
引当金合計	64,040,790	6,921,000	25,482,590	0	45,479,200

6. その他

金融商品の状況に関する事項

i. 金融商品に対する取組方針

- ・当法人は、法人運営の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券、株式、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用します。
当法人が利用するデリバティブ取引は仕組債に限定し、投機目的のデリバティブ取引は行いません。

ii. 金融商品の内容及びそのリスク

- ・投資有価証券は、債券、株式、デリバティブ取引を組み込んだ仕組債であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）、流動性リスクにさらされています。
保有する仕組債の簿価は2,351,169,200円です。

iii. 金融商品に係るリスク管理体制

- ・資産運用規程に基づく取引
金融商品の取引は、当法人の資産管理運用規定に基づき行います。
- ・信用リスクの管理
債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告します。
- ・市場リスクの管理
株式については時価を定期的に把握し、理事会に報告します。

附属明細書

(令和5(2023)年度決算及び決算報告書に関する附属明細書)

1. 基本財産及び特定資産の明細

- ・財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略します。

2. 引当金の明細

- ・財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略します。

令和5（2023）年度 財産目録

（令和6（2024）年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
-----	--------	-------	-----

【Ⅰ】資産の部

現金預金		運転資金	203,063,081
普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部		45,794,122
	三井住友銀行 新橋支店		157,268,959
未収金	スクラップ売却費	事業活動に伴う短期債権	6,702,381
前払金	メダル製作費他	公益目的事業費用の前払い等	11,914,198
流動資産合計			221,679,660
普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	公益目的保有財産	595,652
投資有価証券		運用益の内、84%を公益目的事業の財源とし、	19,966,433,300
債券	円建外債及びユーロ円債 8 銘柄	16%を法人会計の管理費用の財源としています	944,266,700
株式	パナソニック株式会社他 6 銘柄		19,022,166,600
基本財産合計			19,967,028,952
賞金基金普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	公益目的保有財産	5,632,646
賞金基金有価証券		運用益の全てを顕彰事業の財源としています	2,099,157,800
債券	円建外債及びユーロ円債 8 銘柄		1,406,902,500
株式	3 銘柄		692,255,300
退職給付引当資産	三井住友信託銀行 本店営業部	負債に対応する資産	40,288,200
平成記念研究助成資金普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	公益目的保有財産	40,000,000
賞金変額制対応資金普通預金	三井住友信託銀行 本店営業部	運用益の全てを顕彰事業の財源としています	100,000,000
	三井住友銀行 新橋支店		200,000,000
特定資産合計			2,485,078,646
建物付属設備	間仕切他 計 5 点	公益目的保有財産	2,676,632
什器備品	応接セット他 計 1 1 点		5,212,762
電話加入権	電話回線 5 回線		459,300
敷金	賃借事務所敷金		15,494,770
保証金			10,000
その他固定資産合計			23,853,464
固定資産合計			22,475,961,062
資産合計			22,697,640,722

【Ⅱ】負債の部

未払金	社会保険料他	事業活動に伴う短期債務	2,496,490
預り金	源泉税他	事業活動に伴う短期債務	1,473,131
賞与引当金	夏季賞与（翌期支給見込のうち当期帰属分）	事業活動に伴う短期債務	5,191,000
流動負債合計			9,160,621
退職給付引当金	職員の退職時要支給見込額	事業活動に伴う固定負債	40,288,200
固定負債合計			40,288,200
負債合計			49,448,821

【Ⅲ】正味財産の部

正味財産合計			22,648,191,901
負債及び正味財産合計			22,697,640,722